

景気景況調査報告

(第40回)

令和7年	10～12月期	実績
令和8年	1～3月期	見通し

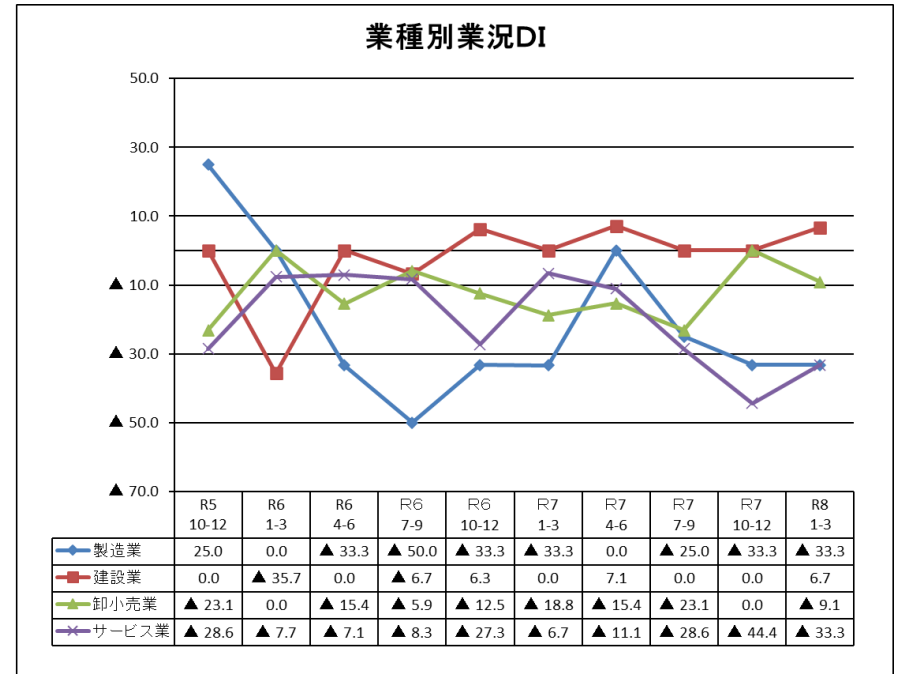
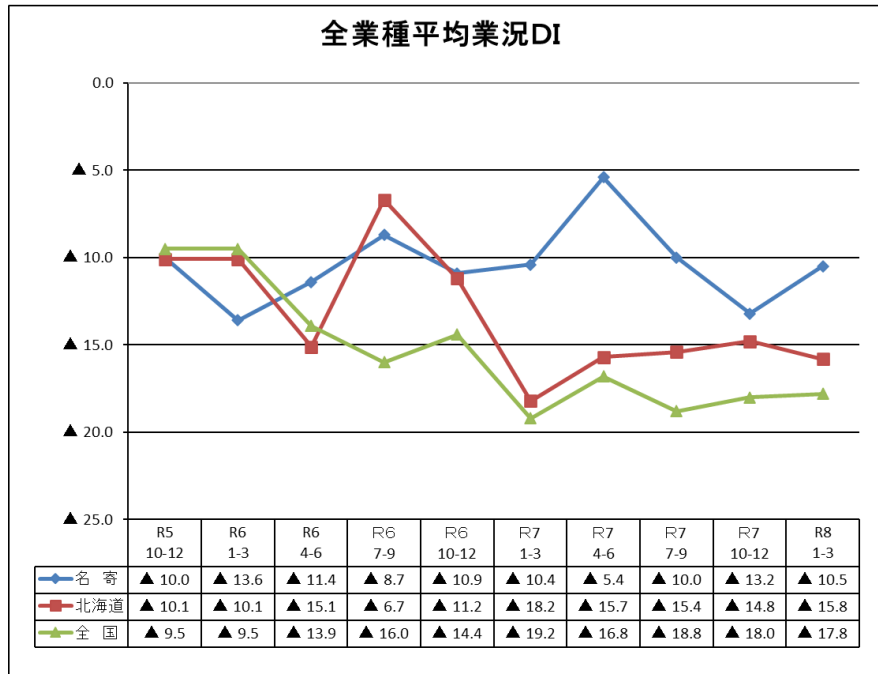
令和8年3月

名寄商工会議所

I 調査要領

- ①調査対象期間 令和7年10～12月期の実績及び令和8年1～3月期の見通し
- ②調査内容 製造業、建設業、卸小売業、サービス業の4業種に分類し、売上高、採算、仕入、販売、従業員、業況、資金繰りの7項目について調査を実施。
- ③調査対象 当所会員企業（メール・FAX・Google Formで協力願い） 120社

II 調査結果

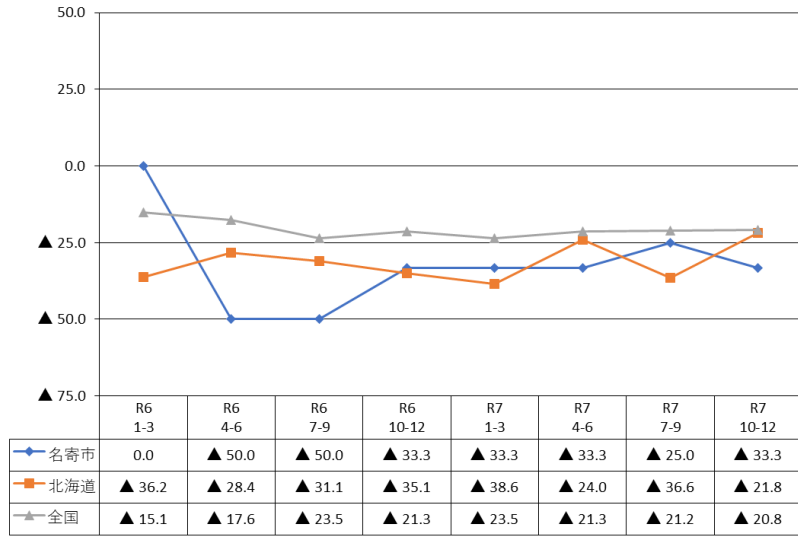


※DI：「好転」の回答企業と「悪化」の回答企業の差

- ・今期市内事業所では、全業種平均で△13.2ポイントと前回調査より下落しているが、見通し前期と大きく変わらない程度に回復すると見込まれている。
- ・北海道（道商連調査）の景気を比較すると、名寄市は1.6ポイント上回った。前回に比べ北海道の値が1.4ポイント上昇し、名寄は3.2ポイント下落だったため、このような結果につながった。見通しでは名寄はDI値上昇、北海道はわずかに下落が見込まれているため、DI値の差が広がることが考えられる。
- ・全国（日商調査）の景気を比較すると、今期は前期より0.8ポイントプラスとなっているが、今後は名寄の景気の回復傾向が見込まれるなか、全国的にはほぼ横ばいと見込まれるため、この値の差はまた拡大すると考えられる。
- ・業種ごとで比較すると今回の調査結果の見通しでは、製造業は変動がないが、ほかの業種では6ポイント以上の上昇・下落があると見込まれる。

業種別業況DI

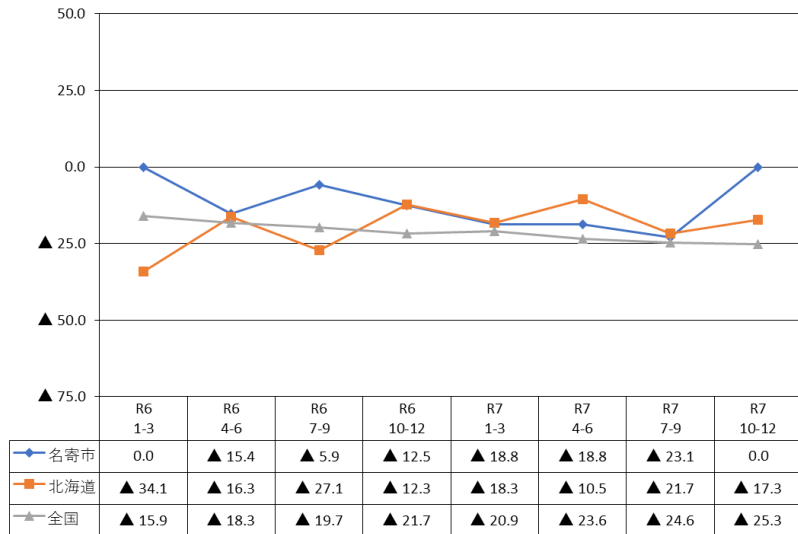
製造業 業況DI



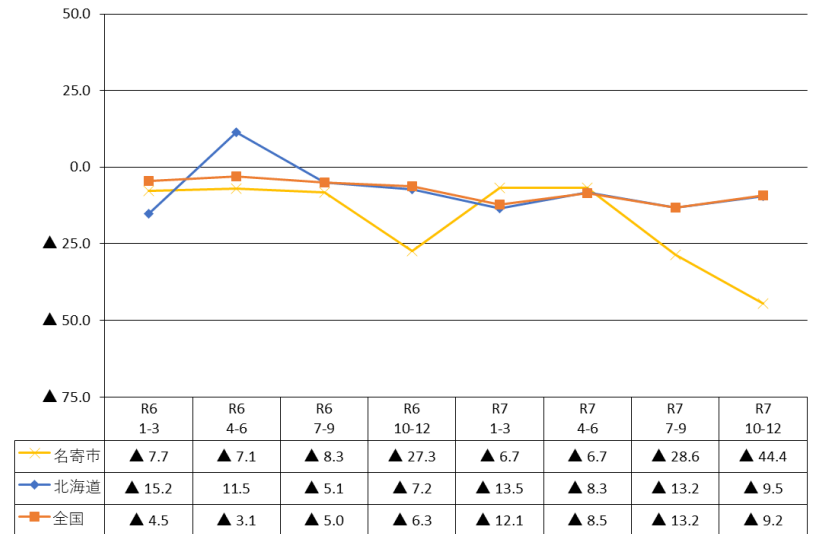
建設業 業況DI



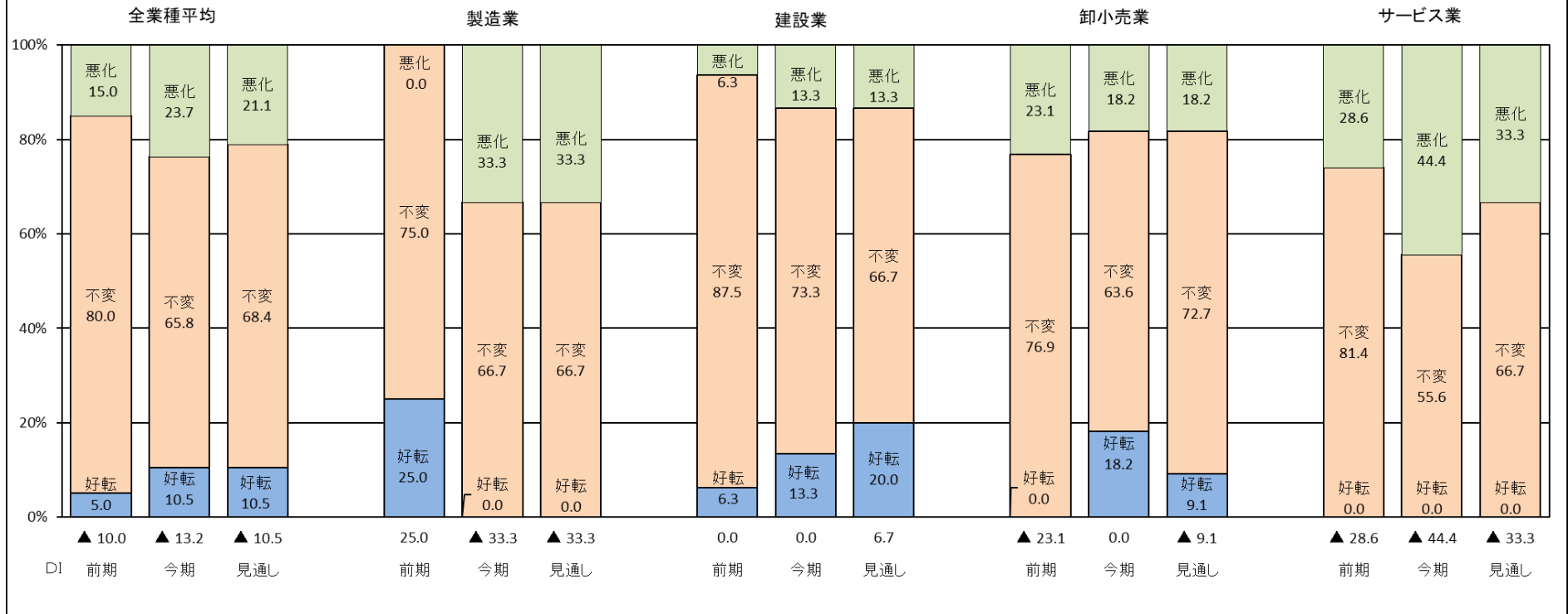
卸小売業 業況DI



サービス業 業況DI



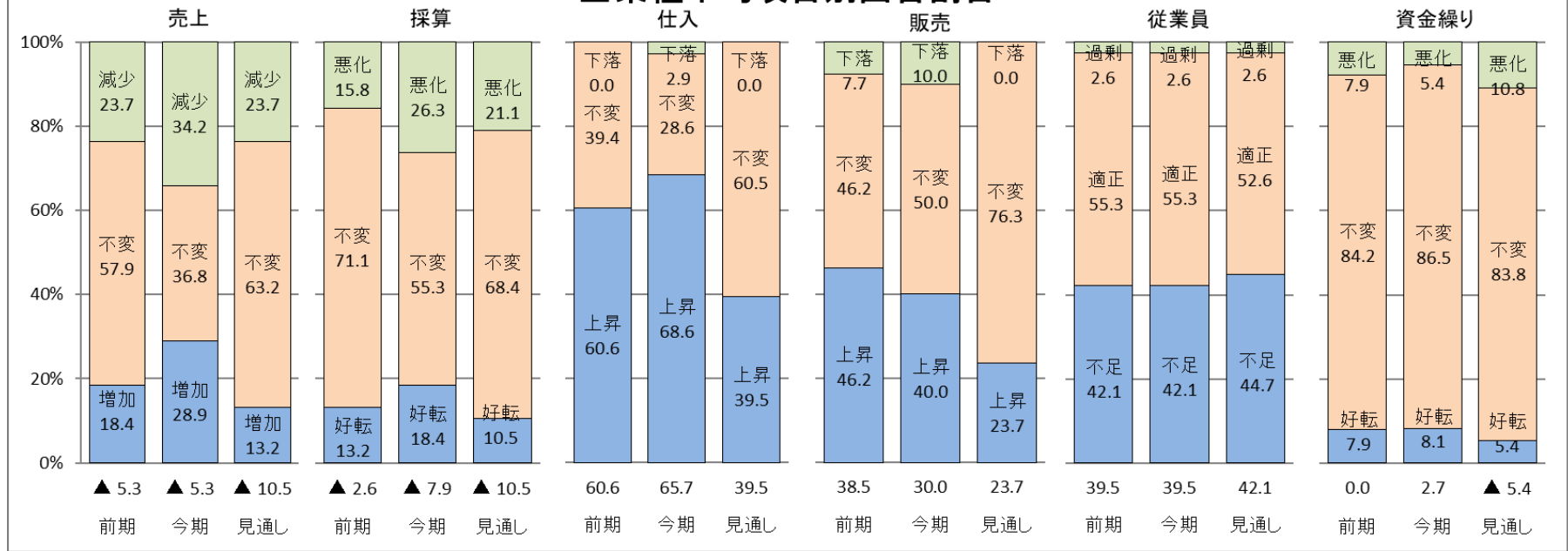
業種別業況回答割合



※DI：「好転」の回答企業と「悪化」の回答企業の差

- 全業種平均～** 今期は前期より、「悪化」が増加したことでDI値が下落している。
見通しでは、「好転」・「悪化」数がほぼ変わらず、現状維持が見込まれる。
- 製造業～** 今期は前期と比べ、「好転」が減少し、DI値が下落した。見通しでは今期と変わらないことが見込まれる。
- 建設業～** 今期は前期に比べ、「好転」・「悪化」がともに増加し、DI値は0.0となった。
見通しでは今期より「好転」が上昇することが見込まれる。
- 卸小売業～** 今期は前期に比べ、「好転」が増加し「悪化」は減少したことで、DI値が0.0に増加した。
見通しでは「悪化」は変動がないが、「好転」が減少しDI値の下落が見込まれる。
- サービス業～** 今期は前期に続き、「悪化」が増加し、「不変」が減少している。
前期よりもDI値が下落しており、見通しでは「悪化」が減少することでDI値の回復が見込まれる。
全体的に仕入・運賃高騰・求人難・仕入単価増加・原油価格高騰・物価高騰等々の要因が挙げられている。

全業種平均項目別回答割合



売上 DI 今期が△5.3ポイントと前期と変動なし。見通しでは不変が増加することが見込まれる。

[増加の要因]

・発注事業の増加 ・販路拡大

[減少の要因]

・資材の値上げ ・物価高に伴う販売数の低迷 ・需要の減少 ・受注数の減少

採算 DI 今期△7.9ポイントと前期より5.3ポイント下落となっている。今期は前期より好転・悪化がともに増加しているが、悪化の値がより多く増加しているためDI値の下落となった。

[下落の要因]

・運賃価格の上昇 ・原油価格の高騰 ・仕入価格の上昇 ・各価格上昇に伴う経費増加

仕入 DI 今期65.7ポイントと前期より5.1ポイント上昇。見通しでは不変が増加するため、DI値が下落することが見込まれる。

[下落の要因]

・仕入運賃の増加 ・原材料の上昇 ・原油価格の高騰 ・円安 ・助成金の減額

販売 DI 今期30.0ポイントと前期より8.5ポイント下落となっている。下落が前期より増加し、上昇が減少したためDI値が下落。見通しではさらに「下落」が減少するが、「上昇」の値も減少することが見込まれる。

[上昇の要因]

・原材料の上昇 ・メーカー値上げ ・製造コスト上昇 ・エネルギー価格の上昇

従業員 DI 今期39.5ポイントと前期と変動なし。見通しでは「不足」の増加が見込まれる為、DI値の上昇にもつながる。

[不足の要因]

・高齢化 ・人口減少 ・若年層の不足 ・求人難 ・退職者の補充ができない ・仕事量の減少 ・職人不足

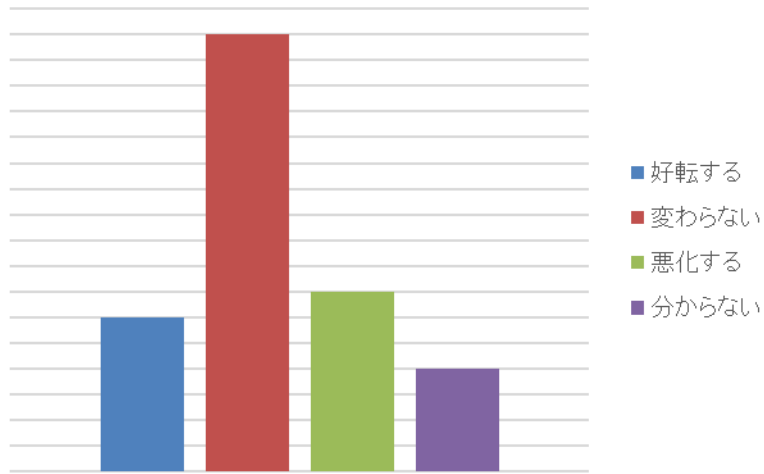
資金繰り DI 今期は「悪化」が前期より2.5%減少している。しかし、見通しでは悪化が増加しDI値の下落が見込まれる。

[上昇の要因]

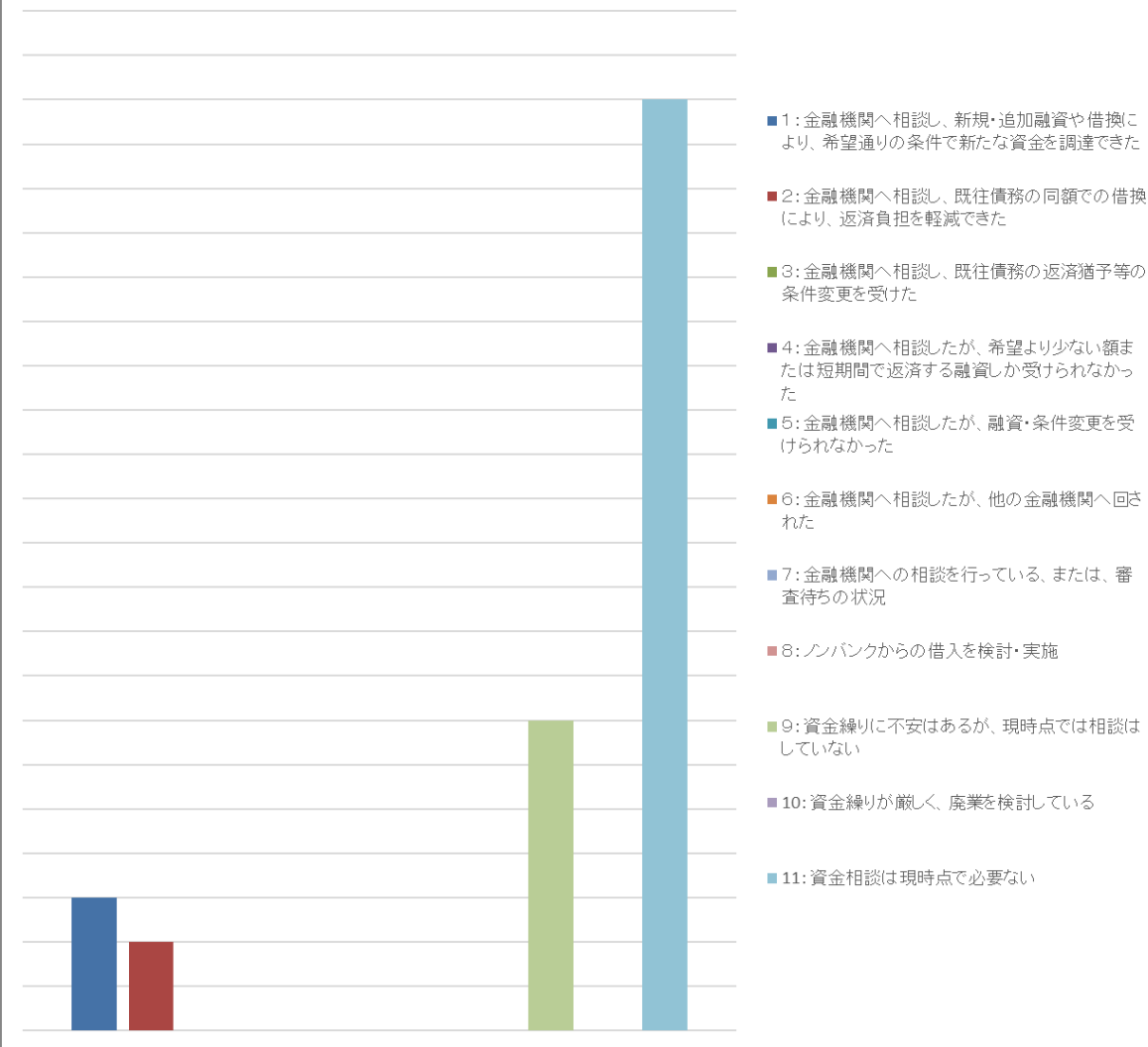
・受注の増加

付帯調査①

今年(2026年)の貴社の業況の見通し

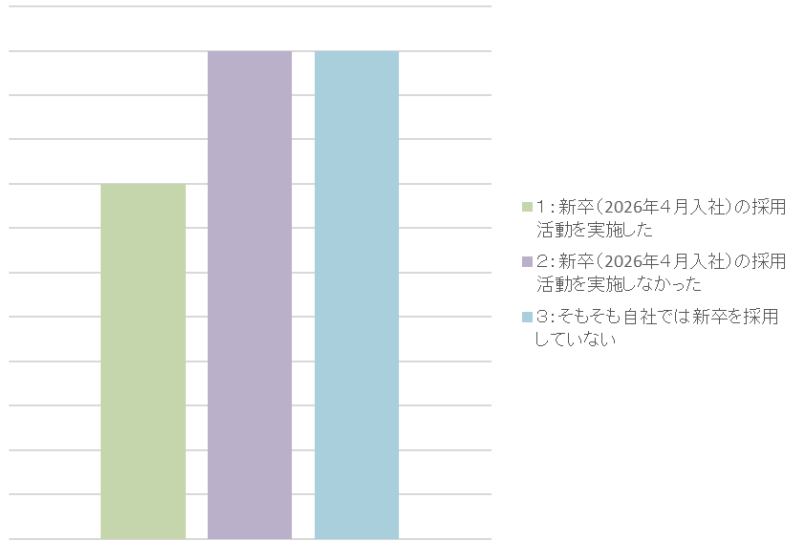


年度末に向けた貴社の資金繰りの状況(複数回答可)

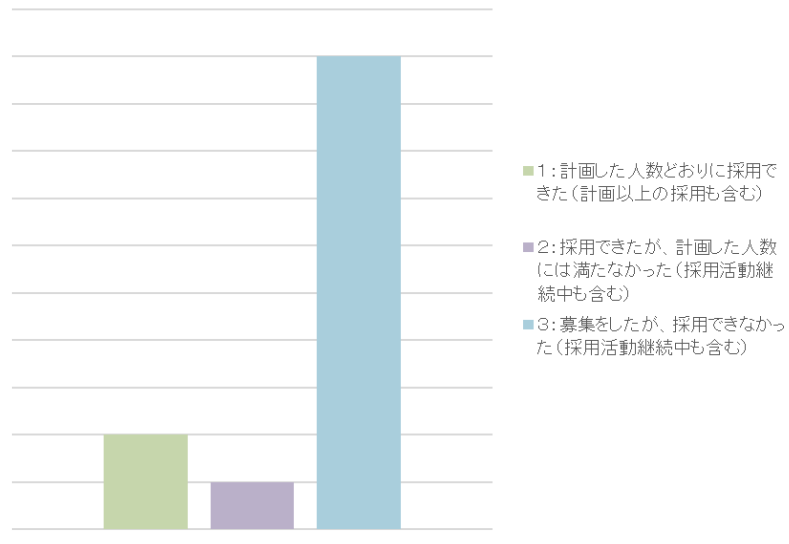


付帯調査②

新卒(2026年4月入社)の採用活動の実施状況



採用計画に対する新卒採用の充足状況



新卒(2026年4月入社)の採用活動にあたり、取り組んだ事項(複数回答可)

